



松本市図書館だより

平成26年4月1日発行 第13号



編集・発行 松本市図書館
〒390-0861
松本市蟻ヶ崎 2-4-40
電話/0263(32)0099

「こどもの読書週間・2014」 「いつもいっしょ、本といっしょ」



4月23日～5月12日まで「こどもの読書週間」です。

児童書には子どもだけでなく、大人も楽しむことが出来る名作が数多くあります。子どもの頃を思い出しながら、ぜひこの機会に興味を惹かれた新しい1冊を見つけてみてはいかがでしょうか。

◆こどもの読書週間 スペシャルイベント◆

図書館職員によるおはなし会と人形劇(人形劇団やまんばのみなさん)

- ・日時…5月11日(日)午前10時30分～
- ・場所…中央図書館 3階視聴覚室
- ・定員…80名(事前申し込みが必要です)



今月のおすすめ本



『デザインマンホール100選』池上 修、池上 和子/著 アットワークス
【518イ 所蔵館：中央】

日本全国のデザインマンホールの中からメッセージが明快でデザインが素晴らしい100枚を選び、一冊の本にまとめました。デザインマンホールを見ることで、その土地の特徴や文化、名産品などを簡単に知ることができます。因みに松本市のデザインマンホールは何かご存知ですか？(答えは103ページに載っています)

『「年寄り半日仕事」のすすめ』三浦 雄一郎/著 廣済堂出版

【498.3ミ 所蔵館：中央、寿台、中山、空港、梓川】

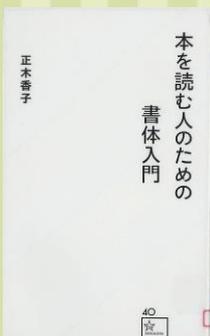
2013年に80歳で3度目のエベレスト登頂に成功し、ギネス最高年齢登頂世界記録に認定された三浦雄一郎。日本人男性の平均寿命を超えた年齢の彼がエベレストに立つために発案された「年寄り半日仕事」作戦とは？次男の三浦豪太が語る登頂成功までの裏側や、三浦家を支える料理のレシピも掲載されています。



『本を読む人のための書体入門』正木 香子/著 星海社

【749マ 所蔵館：あがたの森】

この本は『吾輩は猫である』の冒頭部分が明朝体やゴシック体など4種類の書体で書かれているページから始まります。こうして比べてみると、書体が違うだけですがお話の印象までガラリと違って見えることに驚きます。私達は文章を理解すると同時に、文字自体から様々なことを感じているということに気づかせてくれる一冊です。





図書館と私 「私にとっての図書館」

図書館協議会委員
朗読ふれあいの会
矢ヶ崎 三重

〔松本市図書館協議会委員の皆さんによるコラムです。〕

「朗読ふれあいの会」とは、中央図書館のもとで主に視覚障害のある方々に対面朗読のボランティアをしている団体で、会は発足から20年になり会員は60名ほどおります。

会の皆さんは、視覚障害のある方が希望される読み物を初見で即時に読み、きちんと内容をお伝えするという対面朗読を行っています。私は5年前に初めて同行した時、その流暢で正確な読みに驚きました。近頃の活動は、介護施設や盲学校にも広がっています。

私たちは、誰かのために声を出して読むことで、情報の共有や感情の共有をし、そこに温かい心の交流が生じて、自分自身が満たされた気持ちになります。

私にとっての図書館は、それまで私個人の読書の拠り所でしたが、今では一緒に楽しむための本選びの場、朗読を勉強する場、本好きな方々との会話を楽しむ場となりました。子供の頃から図書館好きだった私は、いくつになってもまだまだ図書館好きでいられます。

予約本ベスト5

平成26年2月15日～
平成26年3月15日受付

一般書

- 1位 『首折り男のための協奏曲』
伊坂 幸太郎／著、新潮社
- 2位 『春、戻る』
瀬尾 まいこ／著、集英社
- 3位 『穴』
小山田 浩子／著、新潮社
『怒り 上』
吉田 修一／著、中央公論新社
- 5位 『村上海賊の娘』上巻
和田 竜／著、新潮社

児童書

- 1位 『パンダ銭湯』
tupera tupera／さく、絵本館
- 2位 『りんごかもしれない』
ヨシタケ シンスケ／作、ブロンズ新社
- 3位 『黒魔女の騎士キューバッド part1』
石崎 洋司作、講談社
『若おかみは小学生！』
スペシャル短編集1』
令文 ヒロ子／作、講談社
- 5位 『いくらなんでもいくらくん』
シゲタ サヤカ／著、イースト・プレス

図書館に聞いてみよう！

【今月の事例】



ある植物が載っている図鑑が見たい

Q. 「アーティーチョーク」という植物が載っている図鑑はあるか。

A. ア. 『原色牧野日本植物図鑑 I』
(北良館：1985年)

イ. 『園芸植物』
(山と溪谷社：1998年)

まず百科事典で「アーティーチョーク」はどんな植物でどんなことに使われているのかを確認しました。また、そのままの名前で載っていないことがあるため、和名、学名も調べました。

植物の図鑑を「アーティーチョーク」で探したが、見つからなかったため、百科事典で調べた和名の「チョウセンアザミ」で再度探しました。

ア) は和名で載っていて、イラストや形態が簡潔に書かれていました。イ) には「アーティーチョーク」で花の写真と若い花蕾そのものも食用になることなどが記載されていました。

蕾の写真は載っていなかったため、図鑑ではありませんがハーブや料理の実用書などで確認しました。

図書館には、調べ物のお手伝いをするサービスがあります。本についての問い合わせ以外にも、身近な疑問についてもお調べしていますので、お気軽にご利用ください。

編集後記

長かった冬もようやく終わり、春の日差しが暖かい季節となってきました。皆様、いかがお過ごしでしょうか。中には新生活をスタートする方もいると思います。多くの人との出会いがあるように、図書館では多くの本との出会いがあります。一期一会を大切にしたいですね。

